

9. 主な出来事

年月日	名 称	所在地	内 容
通年	びわこキャンペーン	県内外	J R西日本と共同で滋賀県観光情報誌「シガリズムトリップ」(2022年夏号より「滋賀たび」から名称変更)を作成するなど、滋賀の季節ごとの情報発信に努めた。
1月14日～3月6日	滋賀県宿泊周遊キャンペーン「今こそ滋賀を旅しよう！」第5弾	県内	県内宿泊施設を利用する旅行者に、コンビニ券の購入で1人1泊につき最大5,000円の宿泊割引に加え、3,000円分の周遊クーポンを提供する宿泊周遊キャンペーン「今こそ滋賀を旅しよう！」第5弾を実施した。 ※コンビニ券の新規販売停止期間あり
2月15日～3月31日	「しが安心宿泊割引」	県内	家庭や職場内での感染回避を目的とするエッセンシャルワーカーや受験生を対象に、コンビニ券の購入で1人1泊につき最大6,000円の宿泊割引を行う「しが安心宿泊割引」を実施した。
2月22日	聖徳太子1400年御遠忌	県内	聖徳太子の1400年御遠忌となる本年は、慶賛事業として比叡山延暦寺や東近江地域の聖徳太子ゆかりの11社寺等で様々なイベントが行われた。
4月1日～	滋賀・びわ湖ニューツーリズム「シガリズム」	県内	「シガリズム」とは、「琵琶湖をはじめとした自然と歩みをそろえ、ゆっくり、ていねいに暮らしてきた、滋賀の時間の流れや暮らしを体感できる、“心のリズムを整える新たなツーリズム”」の総称で、コロナ禍を経た新たな観光スタイルを創出し、様々な事業を展開した。
4月15日～10月10日	滋賀県宿泊周遊キャンペーン「今こそ滋賀を旅しよう！」第6弾	県内	県内宿泊施設を利用する旅行者に、コンビニ券の購入で1人1泊につき最大6,000円の宿泊割引に加え、2,000円分の周遊クーポン(9月1日からは宿泊プラン代金により4,000円)を提供する宿泊周遊キャンペーン「今こそ滋賀を旅しよう！」第6弾を実施した。
4月29日	「ここ滋賀」リニューアルオープン	東京都	2017年10月に開設した「ここ滋賀」は、首都圏で滋賀の魅力の発信を担う情報発信拠点であり、商品のラインナップや案内機能を充実させ、リニューアルオープンした。
7月18日	滋賀の農林水産業が「世界農業遺産」に認定	県内	国連食糧農業機関 (FAO) により、琵琶湖地域の「森・里・湖(うみ)に育まれる漁業と農業が織りなす琵琶湖システム」が「世界農業遺産」に認定された。
9月17日、9月18日	イナズマロックフェス2022	草津市	滋賀ふるさと観光大使である西川貴教氏が主催する大型野外音楽イベントが鳥丸半島で開催された。会場内には県内のPRブースを設け、県内外の来場者に対し、PR事業を行った。
10月8日～11月27日	BIWAKOビエンナーレ2022	県内	2年に1度開催される国際芸術祭「BIWAKOビエンナーレ」は開催10回目を迎えた。国内外のアーティスト約70名が参加し、近江八幡旧市街地、彦根市街地など約25箇所の会場で、作品の展示等を行った。
10月11日	水際対策の緩和	国内	入国者数の上限が撤廃され、外国人観光客の個人旅行が解禁されるなど、新型コロナウイルス感染症の水際対策が大幅に緩和された。制限は、約2年半ぶりにコロナ禍前の状態に戻った。
10月11日～12月27日	全国旅行支援「全国版今こそ滋賀を旅しよう！」第1弾	県内	交通付旅行商品の場合は最大8,000円/人泊、交通付商品以外(宿泊単独など)の場合は最大5,000円/人泊、日帰り旅行の場合は最大5,000円/人日の割引に加え、最大3,000円分/人泊・人の周遊クーポンを提供する全国旅行支援「全国版今こそ滋賀を旅しよう！」第1弾を実施した。